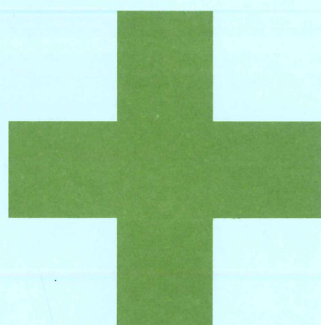


平成30年度

砺波市建設業安全大会

●●● 平成30年度 全国安全週間スローガン ●●●

『新たな視点で見つめる職場 創意と工夫で安全管理
惜しまぬ努力で築くゼロ災』



日時 ▶ 平成30年7月3日(火) 13時30分

場所 ▶ TONAMI 翔 凜 館

主催：砺波市建設業協会

共催：建設業労働災害防止協会富山県支部 砺波分会

後援：砺波市・砺波労働基準監督署

■ 第2部 ■■■

記念講演 (14:45)

演題 「東日本大震災 現場からの証言

ー復興に向けての課題と提言ー」

講師 深松 努 (株式会社 深松組 代表取締役社長)
(一般社団法人 仙台建設業協会 会長)

◆◆◆ お楽しみ抽選会 ◆◆◆

閉会 (16:00)

砺波市建設業協会 副会長

池田

亘

安全宣言

我々の働く建設業界は、2年後に開催される東京オリンピック、4年後に延伸開業予定の北陸新幹線等の大型プロジェクトの影響もあり、県内においても技術者・労働者不足になっています。この状況のもと、国が進める「働き方改革」を各企業が理解し推進するとともに、工事現場において日々安全衛生活動に活かし取り組むことが重要です。

本日、砺波市建設業安全大会の開催にあたり『新たな視点で見つめる職場 創意と工夫で安全管理 惜しまぬ努力で築くゼロ災』のスローガンのもと、全会員が一丸となり安全で安心な職場、労働災害撲滅を目指し全力で取り組むことをここに宣言します。

平成 30 年 7 月 3 日

砺波市建設業安全大会

◆ 記念講演講師 ◆

東日本大震災 現場からの証言

ー復興に向けての課題と提言ー

ふか まつ つとむ
深 松 努 氏



【経歴】

株式会社深松組 代表取締役社長

昭和 40 年生まれ。富山県下新川郡朝日町出身。

日本大学理工学部土木工学科卒業。

東日本大震災において、津波などで 900 人以上の尊い命が失われた仙台市で、震災発生当初からがれき処理作業責任者として現場の指揮を執り、道路啓開、警察や自治体とともに遺体捜索に当たる。

一般社団法人 仙台建設業協会 会長

震災復興建設業の役割重要

砺波市安全大会 深松氏が講演

砺波市建設業安全大会は3日、同市のTONAMI翔凜館で開かれた。朝日町出身で、仙台市建設業協会



東日本大震災の復興について語る深松氏

|| 砺波市の宴会場

の深松努会長が東日本大震災の復興に携わった体験談を語り、建設業の果たす役割を説いた。

深松さんは復興推進にあたって「仙台方式」と言われる建設業協会や産業廃棄物協会、自治体などの連携によるスピード感を持った

がれきなどの処理、リサイクルの取り組みを説明し、建設業協会の成果や課題を強調した。

講演に先立ち、市建設業協会の松本誠一会長があいさつ、安全優良職長として広瀬武夫さん（藤森工業）と小西利昇さん（北陸ハイウェイ建設）を表彰した。大会は市建設業協会の会員企業社員ら約220人が出席した。